

農業 DX 構想（仮称）検討会（第 5 回）
議事要旨

日時：令和 3 年 3 月 11 日（木）15:00～17:00

場所：Web 会議システムを用いたオンライン開催

出席者：別紙のとおり

【議事概要】

- 農林水産省から、農業 DX 構想の構成（案）について説明があり、その後以下の意見があった。
 - ・ 農業 DX の目的や、農業 DX と FaaS（Farming as a Service）との関係を図などで整理するとわかりやすいのではないか。
 - ・ スマート農業関連のサービスの開発・提供を促進するには、非連続的なイノベーションを起こす起業家をいかに多く生み出すかが重要。農業の持続的発展のためには、長期的な視点に立って、ビジネスを起こしたい人に興味を持ってもらうように取り組んでいくべき。
 - ・ 農業や行政関係者が主な読者と思うが、IT の関係者など、農業分野以外の方が興味を持つきっかけとなるよう記述すべき。
 - ・ 農業関係者が抱える課題だけでなく、農業の優位性や強みについても盛り込むべき。
 - ・ 構成案の最後の項目「農業 DX プロジェクト実行に当たっての留意点」は、「留意点」というよりは、農業 DX の実現手段あるいは行動原則のようなものであり、項目名等を工夫すべき。
 - ・ 農業 DX によって農村地域がどう変わるかがあまり見えてこない。都市との交流だけでなく、農村に住む方の暮らしも含めて農村がいかに良くなるかについても示すべき。
 - ・ データ活用の安全・安心に関する視点も加えるべき。DX の進展に伴って蓄積されるデータの活用の在り方に疑念を持たれることのないよう、個人情報への扱いやデータ管理に配慮することについて記述すべき。
 - ・ 農業や農業 DX にあまり関心のない方でも読んでみたいと思ってもらえるよう、冒頭の「はじめに」や「農業 DX の意義と目的」の部分で引きつけ

るような内容とすることが重要。

- ・ 農業者が消費者ニーズに合わせるという視点だけでなく、消費者のプラスの評価が農業者に伝わると、それが農業者の喜びにつながるという視点も入れるべき。
- ・ 農業を社会の中の一つの産業として捉え、社会全体で DX が進む中で、DX を進めなければ他産業に後れを取り、人材確保もままならないという視点も必要ではないか。
- ・ 農業 DX によって、農業者の所得が向上し、消費者の生活の質も向上、農村の暮らしも良くなるなど、農業分野以外の人にも農業 DX の効果が理解されるように記述できると良い。
- ・ オープンなデータプラットフォームの重要性について記載すべき。
- ・ DX によって解決する既存の課題だけでなく、プライバシーやセキュリティ、グローバル化への対応、変革を阻害する縦割り組織など、DX を進める上での新たな課題についても記述すべき。
- ・ 規制はゴールベースで設定されるものだが、ゴール自体は時々刻々と変化していくので、アジャイルで組織をどう見直していくかも重要。
- ・ KPI は目標値ではなく適切な事業が実施できているかを測る指標であって、問題を検知して改善するための指標であることを理解して KPI を設定すべき。また、プロジェクトのパフォーマンスをより良くフォローできるよう、マップ化するなどして整理してはどうか。
- ・ アウトプットとアウトカムの違いに留意しつつ、また、短期アウトカムと長期アウトカムの区別もしながら KPI を設定すべき。その際、少人数ではなく、ワークショップなどを活用して視野を広く議論することが有効。
- ・ 農業 DX の推進が目的の文書であるので、文書中のデータ等の表記方法にも気を配ってほしい。
- ・ デジタル化することで生まれる新たな課題にも配慮していくことの必要性についても記述してはどうか。
- ・ 構想の公表時に全てのプロジェクトについて KPI を設定する必要はなく、できるものから設定するアジャイル・アプローチで対応すればよいが、必ずしも KPI は定量的でなければならないわけではないとはいえ、KPI と KGI を混同しないように留意すべき。

- ・ 農林水産省の内部のプロジェクトが、現場のプロジェクトよりも見劣りすることのないように取り組むべき。
 - ・ DX 実現に向けたプロジェクトが組織として継続的に行われる体制を整備すべき。また、アジャイルを誤解して KPI を定めないままプロジェクトに取り組むことがないようにすべき。
 - ・ 読む人が自分が関係するのはここだとわかるよう、プロジェクトを類型化して示したかどうか。
 - ・ 構想の副題についても、よく検討してほしい。
- 以上を踏まえ、三輪座長より、事務局から示された農業 DX 構想の構成(案)に沿って同構想の全体の内容の整理を進めてよいか確認があり、各委員から賛意が示された。
- これを受けて、三輪座長より事務局に対し、本日の議論を踏まえて次回検討会に向けて農業 DX 構想（案）を作成してほしい旨発言があった。

(以上)

(別紙)

農業 DX 構想(仮称)検討会(第5回)

出席者名簿

(五十音順、敬称略)

泉 翔太 神奈川県厚木市 農業委員会事務局 主事

大橋 弘 東京大学 公共政策大学院 院長

荻野 浩輝 一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事

休坂 健志 株式会社オプティム 取締役

下山 紗代子 内閣官房 IT 総合戦略室政府 CIO 補佐官/一般社団法人リンクデータ 代表理事

○中谷 朋昭 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授

宮島 香澄 日本テレビ放送網株式会社 報道局 解説委員

◎三輪 泰史 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート

(◎は座長、○は座長代理)